

施設訪問記

「大分県立工科短期大学校」を訪ねて

四国ポリテクカレッジ
(四国職業能力開発大学校)
兵庫障害者職業能力開発校

雇用・能力開発機構岡山センター

職業能力開発総合大学校

中尾亀参継
杉本 裕之
岡田 政文
納富 修己

1. はじめに

今回訪問する施設は、大分県北部の中心地、中津市に設立された大分県立工科短期大学校です。大分県で中津市は3番目の人口を有し、県北の中核都市として重要な役割を担っています。中津市は古くから文化が発達し、蘭学の創始者・前野良沢や啓蒙思想家として著名な福沢諭吉など優れた人材を多く輩出している町としても有名です。また産業的にも九州北部は自動車産業が発達しており、近年中津市にも大手自動車メーカーの進出が行われる予定で活気づいています。

2. 設立について

大分県立工科短期大学校は、急速に進展する技術革新や情報化に対応できる高度な知識と技能を兼ね備えた実践技術者を育成し、地域経済の発展に寄与するために、平成10年4月1日に全国で6番目に開校した新しい短期大学校で、短期大学校の概観は地域に溶け込んだ非常に洗練されたデザインを有しています。

短期大学校では実践技術者育成のため、「感性豊かな人材」、「時代の変化に対応する見識を持った人材」、「即戦力となる人材」をキーワードに、充実した講師陣、最新の機器、時代にマッチした講義・実習内容で地域において高く評価されています。今後のグローバル化に対応するため英語の教育にも力を注いでいます。



写真1 正面玄関から見た短期大学校

3. 施設概要

科の構成として生産技術科、制御技術科、電子技術科、住居環境科を擁しています。各科入学定員20名(総定員80名)で、実験・実習・卒業研究において少人数の班編成など個別指導方式を採用し、マンツーマンによる密度の濃い指導で、個人能力を重視した編成になっています。そのため優れた実践技術者の育成を行うことが可能となり、設立当初から就職率は100%を達成しています。大分県北部は今後の発展が期待される地域であることを考えると、この成果は職員の方々の並々ならぬご尽力の賜物だと思われます。また、敷地内に地域とのコミュニケーションや産学官連携を行うための多目的施設「アネックス」があり、このような施設の活用も成果に貢献しているに違いありません。

4. 施設紹介

誌面の都合もあり、ご紹介いただいたなかから特に印象的であった点についてご紹介させていただきます。

4.1 行き届いた整理整頓

まず始めに感じたことは、「とにかく校内がきれいに整理・整頓されている」ということです。これはお世辞ではなく、建物内はもちろん建物外にもゴミが全然落ちていません。また、下駄箱においてもスリッパがきちんと整理されていました。学生への指導が行き届いている証拠だと感心しました。

4.2 リフレッシュ設備の充実

学生がリフレッシュするための施設が充実しており、整備が行き届いた広大なグラウンドの大きさにはびっくりしました。また建物の2階にテラスや広場を設けリラックスできる工夫が随所に見られました。

4.3 学習環境の充実

当短期大学校では部屋にカードキーが設置しており、学生が申請すればゼミ室へ昼夜を問わず自由に入入りができるようになっています。また、実践技術者の育成において、情報通信技術の習得、特にインターネットを利用した情報収集、情報開示を行うための知識、技術は分野を問わず重要な要素となっていますが、当短期大学校ではネットワーク管理に選任の管理者がおり、トラブルに早急に対処できる環境が整えられ、24時間インターネットで情報検索を自由に行うことができます。さらに、全学生が常時1台は利用できるだけのパソコンを整備しており、情報収集・開示に関するインフラが非常に充実していました。

4.4 エンジニアの資質育成

昨今「最近の若者は常識を知らない」と言われていますが、優れた技術者を育成するためには、技能・技術の習得だけではなく、人間性も非常に重要です。施設を案内していただいている間に多くの学生とすれ違いましたが、すべての学生が見ず知らずの私たちにきちんと脱帽しあいさつをしてくれました。人間性に関する指導は非常に難しいことですが、職員の方々のご尽力の成果がでており感心させられました。

4.5 効果的な広報

施設を一般に広く知っていただくために学校案内の



写真2 2階のテラスから見た運動場やテニスコート

パンフレットは重要ですが、当短期大学校のパンフレットは随所に見ている人の関心を誘う工夫が凝らされています。各科の紹介に4ページを使用して、入学後にどのように学習が進められていくかを流れ図で示し、最終的にどのようなゼミを選択できるのか一目で理解できるように作られています。また、1人の学生の、1週間の生活スタイルをストーリーで紹介することにより、オープンかつ爽やかな感じを醸し出して、見る者に大変好印象を与えます。私も同様な職場に身を置く者として、大変参考になりました。

5. 最後に

現在、九州北部は輸送ルートの整備を活発に進めており、かつ広大な平野、豊富な水源を持っています。このような土地に大分県立工科短期大学校が設立されたことにより、九州北部の今後ますますの発展が期待されます。実は私の出身地もこの地域であり今後の発展が大変楽しみでもあります。

【謝辞】

お忙しいなか、長時間に及び施設のご紹介をしていただいた、大分県立工科短期大学校生産技術科教授小山田明生様、同校生産技術科講師栗林仁様、職員の方々に深く感謝いたします。